

公 告

土地改良法（昭和 24 年法律第 195 号）第 88 条第 1 項の規定により、県営土地改良事業（アグリタプコピア地区中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備））計画を変更するため、変更後の同計画の概要につき田子町長と協議するので、同条第 6 項において準用する同法第 87 条の 2 第 8 項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

この計画の概要に意見がある者は、令和 8 年 1 月 5 日までに意見書を提出することができる。

令和 7 年 12 月 10 日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

記

1 縦覧に供する書類

土地改良事業計画概要書

2 縦覧の期間

令和 7 年 12 月 10 日から令和 8 年 1 月 5 日まで

3 縦覧に供する書類及びこの公告文の掲載場所

青森県庁ウェブサイト

(https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kanri_01.html)



4 意見書の提出方法等

(1) 意見書は、郵送又は電子メールにより提出すること。

(2) 意見書の提出先

青森県農林水産部農村整備課

ア 郵送の場合 〒030-8570 青森市長島 1-1-1

イ 電子メールの場合 noson@pref.aomori.lg.jp

(添付ファイルによる場合は、テキスト形式によること。)

(3) 意見書には、①事業名、②地区名、③意見書の提出者の氏名及び住所（団体の場合は名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地）並びに④連絡先（電話番号及びメールアドレス又はそのいずれか）を記載すること。

(4) 提出のあった意見は、公表する場合があるため留意すること。

(5) 意見書に使用する言語は、日本語とすること。

変更理由を記載した書面

中山間地域総合整備事業(農業用排水施設整備)

(第1回変更)

県 名 : 青 森 県
地 区 名 : アグリタプコピア
所 在 地 : 三戸郡田子町
事業主体 : 青 森 県

計画変更を必要とする理由

1 変更の内容

(1) 事業費

(単位：千円)

路線名	事業費		増減	増減の内訳				
	変更前	変更後		自然増	入札残等	事業量変更	工法変更	その他
田子上堰	60,000	3,964	△ 56,036	9,400	0	△ 65,436	0	0
野面平	251,000	391,300	140,300	61,300	0	0	79,000	0
佐羽内	27,000	45,166	18,166	1,200	△ 19	0	16,985	0
新田向	45,000	51,237	6,237	2,200	△ 80	0	4,117	0
関	45,000	44,098	△ 902	2,100	△ 2,626	0	△ 376	0
小計	428,000	535,765	107,765	76,200	△ 2,725	△ 65,436	99,726	
工事雑費	5,886	7,366	1,480	1,044	△ 37	△ 899	1,372	0
事務費	15,514	19,425	3,911	2,766	△ 99	△ 2,372	3,616	0
合計	449,400	562,556	113,156	80,010	△ 2,861	△ 68,707	104,714	0

(2) 受益面積、主要工事計画等

区分	変更前	変更後	備考
受益面積	A=118.4ha	A=100.0ha	
主要工事計画	農業用排水施設L=3,079.0m	農業用排水施設L=2,856m	
工期	平成30年～令和9年	平成30年～令和11年	
費用の概算	449,400千円	562,556千円	
年総効果額	83,062千円	60,507千円	
総費用総便益比	1.48	1.32	

(3) 経済効果額

項目	変更前	変更後
作物生産効果	88,701	70,929
維持管理費節減効果	△ 8,577	△ 8,624
営農経費節減効果	△ 8,033	△ 7,895
国産農産物安定供給効果	10,971	6,097
計	83,062	60,507
総費用総便益比	1.48	1.32

2 変更する理由

田子上堰路線について、用地関係調査の結果、公図訂正や地積更正が必要となり、かつ、関係者が多数であったことから、田子町との協議を踏まえ、事業工期内に必要な手続きが完了する見通しが立たないことから当該路線の整備を廃止することとし、それに伴う受益面積及び事業費が減少となる。

また、野面平路線について、実施設計の結果、水路側壁部にかかる土圧の影響が大きく、通常より鉄筋を増やした大型水路への変更が必要となり、事業費が増加となる。

変更後の受益面積 = 当初の受益面積

×100＝

当初の受益面積

100.0ha

118.4ha

×100＝

-15.5 %

118.4ha

受益面積の増減が10%を超えるため、重要な変更となる。

土地改良事業計画概要書

中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）

（第1回変更）

県 名： 青 森 県
地 区 名： アグリタプコピア
所 在 地： 三戸郡田子町
事業主体： 青 森 県

目 次

第1 章	目 的	-----	1
第1 節	目 的	-----	1
第2 節	地 積	-----	1
第2 章	地域の所在及び現況	-----	1
第1 節	地域の所在及び地形	-----	1
第2 節	土質及び土壌	-----	1
第3 節	気 象	-----	1
第4 節	水 利 状 況	-----	2
第5 節	道 路 状 況	-----	2
第6 節	営 農 状 況	-----	2
第7 節	地域環境の概況	-----	2
第3 章	基本計画	-----	2
第1 節	事業計画の要旨	-----	2
第2 節	営農計画及び土地利用計画	-----	2
第3 節	用 水 計 画	-----	3
第4 節	排 水 計 画	-----	3
第5 節	道 路 計 画	-----	3
第6 節	農用地造成計画	-----	3
第7 節	洪水調節計画	-----	3
第8 節	干拓計画	-----	3
第9 節	農用地整備計画	-----	3
第10節	老朽ため池改修計画	-----	4
第4 章	工事又は管理の要領	-----	4
第1 節	主要工事計画	-----	4
第2 節	工事の施行方法	-----	4
第3 節	工事完了後の施設の管理	-----	4
第5 章	換地計画の要領	-----	4
第6 章	費用の概算	-----	4
第7 章	効 用	-----	4
第8 章	他の事業との関係	-----	4
第9 章	計画概要図	-----	4

第1章 目 的

第1節 目 的

田子町は青森県の最南端に位置し、南は岩手県二戸市及び八幡平市、西は秋田県鹿角市、北及び東は三戸町とそれぞれ接している。

本地域の農業用排水路は、多くは整備済みであるものの老朽化が著しい状況である。そのため、漏水が多く、用水の安定供給に支障を来していることに加え、洪水時に土羽が崩落する箇所があるため、日常の維持管理とともに、多くの労力と費用を費やしている。

緊急性の高い4路線を整備することで、用水の安定的な供給による干ばつ防止と維持管理の省力化を図るとともに、周辺農地の保全を図り、農作業の合理化と農業生産性の向上に資するものである。

第2節 地 積

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
三戸郡田子町	98.7	1.3	-	-	-	100.0	

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在及び地形

田子町は青森県の最南端に位置し、岩手県及び秋田県に隣接する県境の町である。総面積は24,198haであり、東西に19.6km、南北に17.0kmの扇形を成している。中央部から東部にかけての丘陵地帯は、主に畑地として利用されており、総面積の約8割が山林原野で覆われている。この山並みを源とする熊原川、相米川、種子川が町を四分する形で東方に流れ、主流熊原川に合流しており、これらの流域に沿った平地に水田が拓けている。

第2節 土質及び土壌

田子町の地質は、第四紀層に属する沖積台地である。土壌は山地及び丘陵地が黒ボク土壌、褐色森林土壌で、台地及び低地は灰色低地土壌、黒ボクグライ土壌等で黒ボクの影響を受けているものが多い。

第3節 気 象

1. 一般気象

観測所名	三戸地域 気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H27年～R6年	5月～9月	10月～4月		
平 均 気 温 (℃)	19.7	4.2	10.7		
降 水 量	平 均 (mm)	665	487	1,152	
	基 準 年 (mm)	623	468	1,091	令和6年
降水日数	平 均 (日)	52	72	124	
	基 準 年 (日)	52	75	127	令和6年
根 雪 期 間	12月25日～2月28日		66日間		
無 霜 期 間	5月19日～10月9日		145日間		
最 多 風 向	SW	最大風速 (風向)	10 m/s (SW)	最多風向発生時期 1月～12月 最大風速発生年月日 令和5年11月7日	

2. 特殊気象

観測所名：三戸地域気象観測所

観測期間	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
S26年～R6年	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日	数量	年月日
最大日雨量	238mm	H11.10.28	154mm	H16.9.30	151mm	H2.10.26	145mm	H18.10.7	126mm	S61.8.5
最大連続雨 量	281mm	S42.9.11 ～ S42.9.22	257mm	H11.10.27 ～ H11.10.30	245mm	S33.7.22 ～ S33.7.29	233mm	H23.9.17 ～ H23.9.23	232mm	R2.6.30 ～ R2.7.16
最大連続干天日数	45日	H19.5.1 ～ H19.6.14	42日	H18.5.1 ～ H18.6.11	35日	S48.6.24 ～ S48.7.28	35日	H9.6.30 ～ H9.8.3	34日	H1.7.13 ～ H1.8.15

第4節 水利状況

本地区の農業用水は、一級河川馬淵川水系種子川、杉倉川及び熊原川を取水源としており、取水施設から自然流下により導水している。

第5節 道路状況

該当なし

第6節 営農状況

田子町は稲作、葉たばこやにんにくなどの畑作、黒毛和種などの畜産を中心に複合経営を行っている。

第7節 地域環境の概況

田子町は青森県の最南端に位置し、南は岩手県二戸市及び八幡平市、西は秋田県鹿角市、北及び東は三戸町とそれぞれ接している。

町域は総面積241.98km²の広がりを持ち、東西に19.6km、南北に17.0kmの扇状を成しており、総面積の約8割が山林原野で覆われている。この山並みを源とする熊原川、相米川、種子川が町を四分する形で東方に流れ、主流熊原川に合流しており、これらの流域に沿った平地に水田が拓けている。

動物は主なものとして、ニホンアナグマ、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ヤマネ、ニッコウムササビ、ホンドモモンガ、トウホクノウサギ、キツネノスリ、ヤマドリ、イスカ、ヤマガラ、アオバズク、キセキレイ、ムクドリ、カワセミ、イワツバメ等が生息している。

第3章 基本計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本計画路線を整備することで、用水の安定的な供給による干ばつ防止と維持管理の省力化を図り、農業生産性の向上に資するものである。

事業の実施に当たっては、水路法面に現場発生土を使用することで在来植物の定着を促進し、動植物の生息環境及び景観の保全を図る。また、水路内に小動物脱出スロープを設置し生態系の保全・再生を図るほか、水路の基礎材には再生砕石を使用し、限りある資源を有効活用することにより環境への負荷の軽減を図る。

2. 事業別面積

土地利用 区分 事業目的	水 田 (ha)	輪 換 耕 地 (ha)	畑						計 (ha)	備 考
			普 通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
用水改良	37.5	47.1	-	-	-	-	-	-	84.6	
排水改良	6.2	7.9	1.3	-	-	-	-	1.3	15.4	
計	43.7	55.0	1.3	-	-	-	-	1.3	100.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、営農効率の向上と農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

土地利用 区分	水田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	畑					小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
			普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	43.7	55.0	1.3	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	
計 画	43.7	55.0	1.3	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	

3. 作付計画

水 田 :	水 稻	A= 43.7 ha
輪換耕地 :	飼料用米、にんにく、えだまめ、とまと	A= 55.0 ha
普 通 畑 :	にんにく、だいこん、えだまめ、とまと	A= 1.3 ha

第3節 用水計画

1. 計画基準年 昭和53年

2. かんがい方式

水 稻 : 湛水かんがい方式 かんがい期間 5月11日～9月10日 (代掻期間 5月11日～5月25日)

3. 計画用水量

野 面 平	代掻期	純用水量 0.231m ³ /s	粗用水量 0.272m ³ /s
新 田 向	代掻期	純用水量 0.058m ³ /s	粗用水量 0.068m ³ /s
関	代掻期	純用水量 0.149m ³ /s	粗用水量 0.176m ³ /s
佐 羽 内	代掻期	純用水量 0.108m ³ /s	粗用水量 0.127m ³ /s

4. 水源計画

野 面 平	一級河川馬淵川水系熊原川を水源とする。
新 田 向	一級河川馬淵川水系杉倉川を水源とする。
関	一級河川馬淵川水系熊原川を水源とする。
佐 羽 内	一級河川馬淵川水系熊原川を水源とする。

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 佐羽内 日雨量 135.6mm (1/10確率雨量夏坂観測所 (国交省))

2. 計画排水方式

自然排水による。

3. 計画排水量

系 統	受益面積 (ha)	流域面積 (km ²)		全排水量 (m ³ /s)		備 考
		平 地	山 地	自然排水	機械排水	
佐羽内	15.4	0.164	-	0.445	-	

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第4章 工事又は管理の要領

第1節 主要工事計画

用水路工	L =	2,856	m	
野面平	L =	1,905	m	(大型水路1400×1000)
新田向	L =	480	m	(U型側溝600)
関	L =	171	m	(大型水路1500×1000)
佐羽内	L =	300	m	(排水溝700×700)
排水路工	L =	300	m	
佐羽内	L =	300	m	(排水溝700×700)

第2節 工事の施行方法

1. 工事は、原則として請負施工で行う。

2. 工事着手及び完了の予定時期

平成30年度 着手

令和11年度 完了予定

第3節 工事完了後の施設の管理

この事業によって造成された施設は、田子町が管理する。

第5章 換地計画の要領 該当なし

第6章 費用の概算

総事業費： 562,556 千円

第7章 効 用

(単位：千円)

効果区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備 考
作物生産効果	70,929	70,541	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	△ 7,895	△ 7,895	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	△ 8,624	△ 1,663	食料の安定供給の確保に関する効果
国産農産物安定供給効果	6,097	-	食料の安定供給の確保に関する効果
計	60,507	60,983	令和7年度単価

<参考>

総 費 用： 1,147,810 千円

総 便 益 額： 1,515,987 千円

総費用総便益比： 1,515,987千円÷1,147,810千円 = 1.32

第8章 他の事業との関係

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	事 業 内 容
異種	アグリタプコピア地区 中山間地域総合整備事業 (農道整備)	青森県	60.2	・ 農道整備工 L=3,045m

第9章 計画概要図

別紙添付図面のとおり (縮尺：1/50,000)

アグリタプコピア地区 中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）

計画概要図

縮尺 1 : 50,000



番号	工種	路線名	延長(m)	備考
①	農用	野面平	1,905 m	
②	農用	新田向	480 m	
③	農用	関	171 m	
④	農排	佐羽内	300 m	
農業用排水計			2,856 m	

凡例	
名称	記号
農業用水路	○—○
農業用排水路	○—○
水田	■
畑	■
市町村界	—
国道	—
主要地方道、県道	—
その他の農道	—
主な市町村道	—

図面の名称	
アグリタプコピア地区 中山間地域総合整備事業 （農業用排水施設整備）	
計画概要図	縮尺：1/50,000
図面番号	1

予定管理方法等を記載した書面

中山間地域総合整備事業(農業用排水施設整備)

(第1回変更)

県名：青森県
地区名：アグリタプコピア
所在地：三戸郡田子町
事業主体：青森県

県営アグリタプコピア地区中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）によって造成された施設の予定管理方法

1. 管 理 者

この事業によって造成された施設は、田子町が管理する。

2. 管理すべき施設の種類

農業用排水路 L = 2,856m

内訳

施 設 名	延 長 (m)
用水路 野面平	1,905
用水路 新田向	480
用水路 関	171
用排水路 佐羽内	300
計	2,856

3. 管理に要する費用の概算及び負担の方法

(1) 概算の費用

8,406 千円／年

内訳

施 設 名	管理費 (千円／年)
用水路 野面平	2,152
用水路 新田向	420
用水路 関	2,469
用排水路 佐羽内	3,365
計	8,406

(2) 負担の方法

管理に要する費用は、管理者である田子町が全額負担する。

事業費の負担区分の予定及び 地元負担の予定基準を記載した書面

中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）

（第1回変更）

県 名： 青 森 県
地 区 名： アグリタプコピア
所 在 地： 三戸郡田子町
事業主体： 青 森 県

事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を記載した書面

1. 事業費の負担区分

区 分		事業費	国	県	市町村	受益者
工事費	負担予定率	% 100.0	% 55.0	% 30.0	% 15.0	% -
	負担予定額	千円 535,765	千円 294,670	千円 160,730	千円 80,365	千円 -
事務的経費	負担予定率	% 100.0	% -	% 100.0	% -	% -
	負担予定額	千円 26,791	千円 -	千円 26,791	千円 -	千円 -
合 計	負担予定額	千円 562,556	千円 294,670	千円 187,521	千円 80,365	千円 -

2. 地元負担金の負担方法

市町村負担については、土地改良法第91条第6項の規定に基づき、田子町が負担する。

受益地域を記載した書面

中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）

（第1回変更）

県 名： 青 森 県
地 区 名： アグリタプコピア
所 在 地： 三戸郡田子町
事業主体： 青 森 県

市 町 村	大 字	字	地 域								
田 子 町	原	四 日 市 川 原	80-1	80-2	81-1	81-2	82	83	84	85	86
			87-1	87-2	87-3	88	89	90	91-1	92-1	93-1
			93-2	94-1	94-2	94-3	94-4	95	96	97-1	97-2
			98	99	100	101-1	101-2	102			
								字計	33	筆	
								大字計	330	筆	
	石 亀	亀ノ下	2-1	42-1	44-1	45	74	76-1	77	78	79
			81	82	83	85	86	88	89	90	91
			92	93	94	96	97	98	99	100	102
			103	104	105	106	107	108	109	110	111
			112	114	115	116	117	118	119	120	121
			122	123	124-1	124-2	125	126	128	129	130
			131	132	133	134	135	137			
									字計	60	筆
		佐羽内	4	13-1	13-4	26	27-1	27-2	40	42	43
44			45	46	47	48	49	50	51	52	
53			54	55	56	57	58	59	60	61	
62			63	64	65	66	67	68	69	70	
								字計	36	筆	
道 地			35	61-1	62	63	64	65-3			
									字計	6	筆
								大字計	102	筆	
遠 瀬		新 田 向	13-1	14	15-3	22-1	22-2	28-1	30	31-1	31-3
			31-7	31-8	31-9	31-10	31-11	31-12	31-13	37-1	39-1
			62								
									字計	19	筆
								大字計	19	筆	
山 口	桑 原	52	53-1	53-2	54	55-1	55-2	56-1	56-2	57-1	
		57-2	58	59-1	59-2	59-3	60	61	63	64-1	
		64-2	64-3	65	66	68-1					
								字計	23	筆	
	小館前田	24	25	26							
								字計	3	筆	
	上ミ岩田	60-1	60-2	61	62	63-1	63-2	64	65-1	65-2	
		66	67	68	69-1	69-2	69-3	70-1	70-2	71	
		72-1	72-2	72-3	73	74-1	74-2	74-3	75-1	75-2	
		76									
								字計	28	筆	
		柳沢前田	54-1	54-2	54-3	54-4	55	56	59-1	59-2	60
			61	62	63	64	65-1	65-2	66	67-1	67-2
	68-1		68-2	69-1	69-2	70	71-1	71-2			
								字計	25	筆	
								大字計	79	筆	
	関	関	181	182-1	183-1	183-2					
									字計	4	筆
									大字計	4	筆
								合計	534	筆	